

屋久島CO2フリーの島づくり サポーターだより

No.4 (平成26年3月19日発行)



B M W



ジャーナリスト向け
電気自動車 試乗会 in 屋久島
H26.3.10 - 3.14



電気自動車「BMW i3」の概要

- 走行距離 約130~160km
- ※ 走行モードをエコモードに切り替えることで、約180~200kmの走行が可能
- 車両価格 4,990千円(消費税8%込み)
- 販売開始 平成26年4月5日

BMW GROUP Japan 黒須氏



BMWの電気自動車は、車両の素材にリサイクル材料を使用したり、生産用の全電力を再生可能エネルギーである風力発電や水力発電を活用しており、**素材から生産まで持続可能なもので揃っています。**
屋久島の電力のほぼ100%が水力発電で賄われていることから、**屋久島であれば、CO2のでない走行が達成できると考え、屋久島で試乗会を実施することになりました。**

発行予定：2カ月に1回程度

サポーターは、随時募集しています！

〈連絡先〉

鹿児島県 環境林務部 地球温暖化対策課 地球環境係

電話：099-286-2586 メール：epchiky@pref.kagoshima.lg.jp

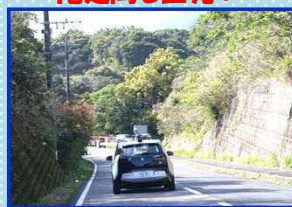
試乗

試乗会に参加したジャーナリストは、下記2コースに分かれて試乗を行いました。

試乗コースA (尾之間→栗生方面)

BMWの電気自動車に試乗するジャーナリストに同行しました。

尾之間を出発！



大川の滝に到着！



~中間海岸を通過~



急速充電(栗生)を体験



試乗コースB (尾之間→ヤクスギランド方面)

ヤクスギランドへ向かう道中で、屋久島の山々を背景に走行風景を撮影しました。



インタビュー

試乗会に参加したジャーナリストにインタビューを行いました。

モータージャーナリスト 九島辰世氏

*「水力発電の島」で電気自動車が走るということについてどう思いますか？

電気自動車に関して、日本は世界的に相当な先進国なんです。

しかし、電気自動車等が出た時から、走行時にCO2排出がゼロであるという話ばかりが表に出ているが、**実際には（動力である）電気を作るまでにどの程度のCO2が出ているかということも重要。**

それを考えると、**屋久島はやはり感動的**です。僕らもどんどんメディアで伝えていきたいと思いき、**皆さんもどんどんアピールしていくべきだ**と思います。



フリージャーナリスト 河村康彦氏

*「水力発電の島」で電気自動車が走るということについてどう思いますか？

電気自動車というと環境にやさしいとかエコとかいうイメージを多くの人々が持っていると思うのですが、**問題は、電気自動車に入れる電気をどうやって発電しているのかということ**ですね。

つまり、車が走るときには排気ガスを出さなくても、車に入れる電気をおこすのにたくさんCO2を出したのでは意味がない。

そういうことを考えると、**屋久島は、理想的な電気自動車の使われ方ができる日本でも特徴的な場所だ**と思います。



東京で「屋久島CO2フリーの島づくり」 のPRを行いました！

1/24に、東京プリンスホテルにおいて、関東在住の薩摩大使や一般招待者など約800人が出席した「鹿児島県のタベ」が開催され、鹿児島の特産品や農林水産物、観光情報の紹介宣伝が行われました。



「屋久島CO2フリーの島づくり」もブースを設置し、取組のPRを行いました。

屋久島と奄美のブースが横並びで展示され、鹿児島島の島々に興味をお持ちの参加者で賑わいました。



屋久島の電力がほとんど全て水力発電でまかなわれていることやCO2フリーの島づくりの取組について、知らなかった方も多く、大変興味を持っていただきました。

CO2フリーの島づくりの話聞いて、是非、屋久島を訪れたいとなったという声も聞かれました。

